

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第3回地域移行・地域生活支援部会			
(2) 開催日時	平成29年8月23日(水) 10:00~12:00			
(3) 開催場所	区役所902会議室			
(4) 出席した委員、事務局	委員 (部会長：青山 明子)			<敬称略>
	白井 絵里子	山根 聖子	相原 美晃	栗田 総一郎
	志村 陽子	林 達彦	秋葉 照美	内藤 啓介
	山田 悠平	岡田 あい子	帯瀬 和明	伊藤 朋春
	山田 紗梨	岡本 洋	川島 浩子	
	区職員：小鳥 彰子(健康づくり課健康づくり担当係長)			
区事務局：平野 理恵子・関根 あずさ(障害福祉課)				
木伏 正有・齋藤 愛理・森田 好美(障がい者総合サポートセンター)				
(5) 内容・要旨	<p>1 部会長の挨拶：前回部会では部会の課題について、限られた時間の中でどのように取り組んでいくか活発な意見交換ができたと思う。作業部会においても前回のご意見をふまえて話し合いを行った。今回は協議会の目的である「地域の障害福祉の課題についての具体的な検討」に向けた、今後の取り組み方法について考える時間としたい。</p> <p>2 確認・連絡事項</p> <p>(1) 司会・書記の確認→司会：山根委員、書記：事務局</p> <p>(2) 出欠者の確認</p> <p>(3) 配布資料の確認</p> <p>(4) ご意見カードの確認</p> <p>3 議題</p> <p>(1) これまでの部会活動について確認</p> <p>伊藤委員、山田委員より説明。</p> <p>・部会立ち上げ当初から2年間で課題抽出の途中であった。1年目は精神障害の地域移行が先行しているため、他の障害分野でも活かせる流れや支援体制等を勉強するために検討を行った。精神科病院の見学も行った。また、今まで3障害それぞれの地域移行の事例を取り上げてきた。課題の絞り込みまでは2年間ではたどり着けなかった。</p> <p>・「戻るしくみ」と「支えるしくみ」の共通認識は持っていたが、部会として課題の抽出まではできていなかった。委員ひとりひとりの課題意識はあっても部会全体としての確認ができていなかった。ご意見カードにもあったが、部会の運営について毎回振り返りの時間を持つことが必要ではないか。そして、部会全体の目的の確認を行い、今後「戻るしくみ」と「支えるしくみ」を考える中で課題を絞り込む一つの作業として事例検討を行いたいと考えている。そこで、課題抽出と解決策の確認まで行う。その作業を通じて出てきた結果を「事例集」という形で残すことで可視化に繋がれば良いのではないかと考えている。</p>			

(2) 事例検討について

まず、今回（プレ実施）は4グループで同事例を検討し課題を抽出、解決策を議論する。今回の手法を試行し、今後の事例検討の進め方について各委員からご意見をいただき、今後の検討方法を再考する。

・いかに解決できるかを考えて解決策をあげていく検討ができることより良い議論ができるのではないかと。「〇〇があったら良い」という意見だけで終わるのではなく、「部会として何ができるか、作れないか」という方向で進めていけたらと思う。

・4グループで事例を検討し、課題と解決策を抽出。各グループの検討事項を発表。集約された課題と解決策については、次回の作業部会でどのようにまとめていくか検討する。

(3) 公開勉強会について

・前回までにご意見いただいたテーマと講師の候補の確認を行う。「戻るしくみ」と「支えるしくみ」の視点から暮らし続ける、暮らしを支えるというネットワーク、共助について地域でできることは何か？を考える機会にできれば良いのではないかと。スケジュールの関係でご都合のつく方と調整していく。

(4) グループホームネットワーク連絡会との連携

・グループホームの連絡会について、合同開催も年に数回予定しているが、2か月に一度開催と先行して行っている精神障がいのグループホームのネットワークと知的障がいのグループホームの連絡会を別々に開催することになった。知的障がいの連絡会は9月中に実施予定。部会で出た話も共有したい。

次回の部会は

日時：平成29年9月27日（水）10時から12時まで

場所：大田区役所902会議室